

地区防災計画ができるまで

地区防災計画策定支援事業 成果報告

モデル地区 : 鴻巣市 中郷地区・市場地区

埼玉県危機管理課

令和5年3月

1. はじめに

地区防災計画ってよく分からないし、なんだか難しそう

作ることは決めたけど、どう進めればいいのか

この資料は、上記のような疑問や悩みをお持ちの地区の方に、実際の作成過程を紹介することで、作成の流れをイメージしてもらい、少しでも地区防災計画作成のハードルを下げるためのものです。

今回、県の支援事業として、鴻巣市の中郷地区・市場地区の方々が、防災士の方に協力いただきながら、地区防災計画を作成しました。この資料では、写真やコメントとともに作成過程を紹介していきます。

なお今回は、イメージを持ってもらうことに重点を置いているため、地区防災計画についての詳しい説明は省略しています。

そのため、この資料だけでは地区防災計画を作ることはできません。また、記載されている作業時間も、実際に作業をしてみると地区によって異なると思います。

ですが、地区防災計画を作成する流れについてのイメージをもっただけ、もう少し調べてみようか、とりあえずやってみようかと思っただけであれば幸いです。

2. 地区防災計画とは

「**地区防災計画**」は災害対策基本法において、市町村内の一定の地区の居住者等が行う自発的な防災活動に関する計画と規定されています。

内閣府の「[地区防災計画ガイドライン](#)」（以下、ガイドラインと
いいます。）では、「地区の特性に応じて、自由な内容で防災計画を
作成することが可能。」とされています。

内容の例として、以下のような項目が挙げられています。

- ① 計画の名称
- ② 計画の対象範囲（位置・区域）
- ③ 基本方針（目的）
- ④ 活動目標（指標等）
- ⑤ 長期的な活動予定等
- ⑥ 防災訓練について
- ⑦ 物資及び資材の備蓄について
- ⑧ 地区居住者等の相互の支援について

また、地区の自然特性や過去の災害事例を踏まえ想定される災害
について検討すること、実際に活動を行う活動主体のレベルと地区
の特性に応じた項目を計画に盛り込むことが重要とされています。

ガイドラインでは、地区防災計画について詳細に説明されていま
す。用語解説やコラムなどもありますので、地区防災計画を作成す
る際には参考にしてください。

3. 地区防災計画作成の流れ

ここからは、実際に鴻巣市中郷地区・市場地区の方々が地区防災計画を作成した過程を紹介していきます。

なお、ガイドラインの記載とは異なる進め方になっているところもあります。これは、両地区の事情にあわせて地区防災計画を作成したためです。これを読んでいる方が作成される際には、進めやすい方を参考にしてください。

(1) 地区防災計画についての説明会（令和4年1月実施）

はじめに、地区の方に地区防災計画の必要性や作り方を知ってもらうため、防災士の方による説明会が行われました。

〈研修会の内容〉

- ・ 地域で何をすればいいか
- ・ 地区防災計画について（範囲、作成主体、費用など）
- ・ 地区防災計画の事例



◆地区防災計画説明会の様子

地区の方に聞きました

- 地区防災計画を作ろうと思ったのはなぜですか？
 - 自主防災会の規定の中に「防災計画を作る」というものがありましたが、進め方が分からず作成できていませんでした。今回、県の策定支援事業の話聞き、これを機にやってみようと思いました。

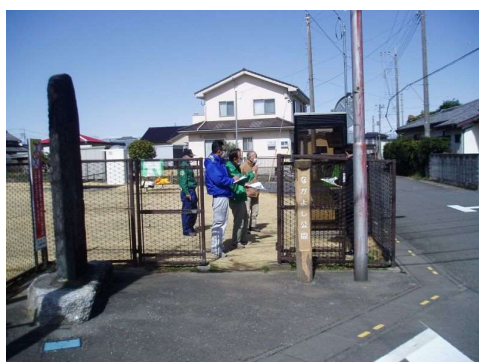
- これまで作成されてこなかったのはなぜでしょうか？
 - やはり何から始めればいいのか分からず、とっつきにくいということがありました。

- 説明会に参加された方はどういった方たちですか？
 - 両地区の自主防災会の役員の方たちです。自治会の班長をされていたりもします。合計で14名が参加しました。計画の作成作業に携わったのもこの方たちです。

(2) 防災まち歩きの実施（令和4年3～4月実施）

【作業時間：説明含め約3時間】

次に、地区の中の危険箇所や災害時に活用できる資材を目で見て確認するため、防災まち歩きを実施しました。中郷地区で実施した際は、10名ほどの参加者が2班に分かれ、防災士の方と1時間半ほどで地区を歩いてみて回りました。まち歩きの間中は、メモや写真を撮りながら、地区の様子を確認しました。



◆ 防災まち歩きの様子（左：中郷地区、右：市場地区）

地区の方に聞きました

○ 防災まち歩きをしてみてどうでしたか？

→ 普段は歩いていても見落としていましたが、意識して歩いてみると危ない箇所があるなど気付きました。防災士の方がいてくれたので、自分たちだけでは見逃してしまう箇所も教えてくれました。

(3) 防災マップの作成 (令和4年3~4月実施)

【作業時間：説明含め約2時間】

次に、防災まち歩きで確認したことを地図に落とし込み、地区の防災マップを作成しました。道路や河川、公園、公共施設などにマーカーしながら、まち歩きで撮った写真や、箇所の説明メモをどんどんと地図に貼っていきました。



◆防災マップ作成の様子 (左：中郷地区、右：市場地区)

中郷地区・市場地区の方々が作成した防災マップは、それぞれの地区防災計画に掲載されています。

(3.5) 新年度になって

地区防災計画の作成は翌年度に継続となりました。年度が変わると自主防災会の役員も代わり、新しい役員の方が作成に参加することとなったため、地区防災計画についての説明と防災まち歩きを改めて実施しました。

地区の方に聞きました

- 作成途中でメンバーが変わりましたが、どうでしたか？
→ 途中でメンバーが変わったため、説明会やまち歩きを改めてやりましたが、それはやはり少し手間に感じました。

(4) 計画文書の作成（令和4年7月～9月）

【作業時間：説明含め約2時間】

防災まち歩きを行い、防災マップができたことで、地区防災計画本体（素案）の作成にとりかかりました。

素案の作成に当たっては、改めて地区防災計画について説明会を行った後、各地区で防災士の方とともに話し合いながら、素案のたたき台をそれぞれ作成しました。



◆ 素案作成の様子 1

次に、それぞれが作成したたたき台を、スクリーンに同時に投影して見比べながら、それぞれの地区の方が内容についての説明を行いました。そして、鴻巣市の「地区防災計画策定の手引き」を参考にしながら、素案の内容についての検討と作成作業を進めました。



◆素案作成の様子 2

その後、もう一度、地区ごとに集まって内容の確認と作成作業を実施し、令和4年9月25日に両地区の地区防災計画素案が完成しました。

地区の方に聞きました

- 今回、2つの地区で同時に作成しましたがどうでしたか？
→ 相手の計画案を参考にしたり、見比べたりなどができ、自分たちだけで作成しているよりも良かったと思います。

(5) 地区防災計画（素案）を市へ提出（令和4年10月） 鴻巣市地域防災計画に掲載、計画完成（令和5年3月）

令和4年10月26日に、完成した地区防災計画（素案）を鴻巣市へ提出しました。

その後、鴻巣市の防災会議の承認を経て、令和5年3月に鴻巣市地域防災計画資料編に掲載され、これをもって両地区の地区防災計画が完成しました。



◆鴻巣市へ素案を提出

作成した地区防災計画は、鴻巣市のHPに掲載されています。

- [地区防災計画を作成しましょう（鴻巣市HP）](#)

4. 地区防災計画を作成して

地区防災計画が完成後、それぞれの地区で計画作成に携わった方に、地区防災計画を作ってみてどうだったかお聞きしました。

地区の方に聞きました

- 地区防災計画を作成してみて、正直な感想を教えてください。
 - やってみてよかったですと思います。
ですが、地区の状況を十分に分かっていないまま作った部分もあり、計画を作る以前の、ベースの部分で考えなくてはいけないことがあると分かりました。例えば、要配慮者のことも考える必要がありますが、個人情報の問題もあり、どのようにするか検討が必要だと気付きました。
それでもやっぱり、やることが大事、「やってみてわかる」ことがあるなと思いました。

- 計画が出来上がるまでに、何回ほど集まって作業されましたか。また、どのようなことをされたのでしょうか。
 - 7回くらいだったと思います。なるべくメンバーが集まれるよう、日曜日に実施することが多かったです。
集まった時には説明会や防災まち歩き、防災マップ作り、それから計画素案の作成作業の他、連絡体制作りについて話し合ったりしました。また、自治会の集まりの時に、現状報告や情報共有などもしました。

地区の方に聞きました

○ 計画文書を作成する際、どなたが主として作業をされましたか。また、どのような時に作業をされていましたか。

→ 自治会の副会長でした。

仕事もしているので、仕事が終わった後、夜の時間や暇のある時間に作業をしていました。ですが、やはり仕事と作業の両立は大変でした。

○ 地区防災計画を作成して、災害への意識は高まりましたか。

→ まだまだだと思います。

防災まち歩きや防災マップ作りなど、作成作業に携わったメンバー個人としては、意識が高まったと思います。ですが、地区全体としてはまだまだで、これから意識を高めていかなくてはならないと思うようになりました。

今後、作った計画を配布し、住民の方からの意見を取り入れてより良いものにしていきたいと思っています。

地区防災計画はできましたが、地区としてはこれからがスタートだと思っています。

○ 最後に、今計画を作成している地区の方々、あるいはこれから作成しようかと考えている地区の方々にアドバイスをお願いします。

→ 地区防災計画を作る時には、その地区に住んでいる人たちが、改めてその地区をよく見てほしいと思います。

また、できれば防災士などの地区防災計画に詳しい方がいるとよいと思います。普段住んでいる地区でも、詳しい人に言われて初めて気づくことがありました。

そして、計画作成についてのアドバイスではないですが、計画を作っていて、地域の繋がりを絶やさないことがとても大事だと感じました。日々の付き合いや地域の行事などを通じて地域の繋がりを維持することが大切だと思います。

5. おわりに

ここまで鴻巣市中郷地区と市場地区の地区防災計画作成の流れを紹介してきました。

防災まち歩きなどそれぞれの作業のやり方などはこの資料だけでは分かりませんが、まずは地区防災計画作成の流れについてイメージを持っていただければと思います。

そして、これまで地区防災計画について疑問や悩みを持っていた地区の皆さんが、

地区防災計画ってそこまで難しくないかも

少しは進め方もイメージできたしやってみようかな

そんな風に思っただき、地区防災計画に取り組む方々が増えていただければと思います。

そして、中郷地区と市場地区の方もおっしゃっていた通り、地区防災計画は、作ってからがスタートです。

災害はいつ、どこで発生するか分かりません。過去に被害のなかった地域で大きな被害が発生するかもしれません。

地区防災計画が完成したら、災害時用の物資の備蓄や防災訓練の実施など、計画に基づいて平時から地域で防災活動を行っていただきたいと思います。

地区防災計画ができるまで

地区防災計画策定支援事業 成果報告
モデル地区：鴻巣市 中郷地区・市場地区

令和5年3月 作成

埼玉県危機管理課震災予防担当
<<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/minnabo-sai.html>>
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目15番1号
危機管理防災センター
